



サービス 通信

富士重工業株式会社

本社：東京都新宿区

西新宿1-7-2 (スバルビル)

NO. FAS-066B

発行 47年5月20日

改訂“A”48年5月31日

改訂“B”49年9月15日

1. 標 題 オイルセパレーター取付 (エンジンプリーザー)
2. 適用機体 FA-2100-180の機体全機
3. 適用度 要望事項
4. 目 的 曲技飛行中ネガティブG (マイナスG) を継続した場合、エンジンプリーザーから滑油の流出するのを防止する。
5. 指 示 防火壁を一部改修し、オイルセパレーターを取り付け、エンジンプリーザー・チューブを変更する。
6. 実施時期 任 意
航空局承認 (No. 一東-077) 49-7-16
7. 承 認 この改修は小改造になるので修理改造検査が必要である。
8. 所要部品 この作業には下記の部品が必要である。

部品番号	部品名称	1機当個数	
AN833-12D	ELBOW	1	
AN924-12D	NUT	1	
MS28778-12	"O" RING	1	
203-914146-051	OIL SEPARATOR	1	
AN3-3A	BOLT	4	
AN960D10	WASHER	4	
AN919-15D	REDUCER	1	B
MS28778-8	"O" RING	1	
SRC79-10-0230	HOSE	1	B
MS20822-10D	ELBOW	1	B

FAS-066B

PAGE 1 OF 6

部品番号	部品名称	1機当個数	
MS2 19 19 DG8	CLAMP	1	B
AN9 6 0 D8	WASHER	1	
AN7 3 7 RM-3 8	CLAMP	2	
F-0 4 5 4-1 2 0 5 0	HOSE	2	
2 0 0-9 1 4 1 3 1-1 2 9	TUBE ASSY	1	
2 0 0-9 1 4 1 3 1-1 2 7	TUBE ASSY	1	
MS2 19 19 DG1 2	CLAMP	2	B
MS3 5 2 0 6-2 4 6	SCREW	2	
NAS 6 7 9 A 0 8 W	NUT	2	
AN8 3 7-4 D	ELBOW	1	
2 0 3-9 1 4 1 4 5-0 0 3	BRACKET	1	
2 0 3-9 1 4 1 4 5-0 0 5	BRACKET	1	
MS2 0 4 7 0 AD4	RIVET	A R	
セメダイン# 5 4 0	ADHESIVE	A R	

9. 特殊工具 なし

1 0. 重量重心 重量変化 0.8 kg, アーム位置 STA 1370 (mm)

1 1. 準拠資料 なし

1 2. 所要工数 4.0 MH

1 3. 作業手順

- (1) サービス・マニュアル項目 4-3-1 に依り上部カウリングを取り外す。
- (2) サービス・マニュアル項目 7-7-1 に依り、副操縦席を取り外す。
- (3) 防火壁前方部改修を図-1 の要領にて実施する。実施前に防火壁部防熱材を作業できる最少限度の範囲で取り外す。
又、(A)部のボルト AN5-7 A を一時抜き取り、ブラケット 203-914145-003 及び 203-914145-005 取付后再取付する。
- (4) エンジンブリーザー・チューブ 200-914131-003 及びホース F-0454-12038 (図-2 B部) をそれぞれクランプ MS21919DG12, 2個、及び AN737RM38, 2個をゆるめ取り外す。
- (5) 前項 3 で取り付けたブラケットにオイルセパレーター 203-914146-051 をボル

- ト AN3-3A、ワッシャ AN960D10 各4個で取り付ける。
- (6) オイルセパレーター上部に、“O” RING MS28778-12、ナット AN924-12Dを使用し、エルボ AN833-12Dを取り付ける。
- (7) オイルセパレーター下部に、“O” RING MS28778-8 を使用し、レジューサー AN919-15Dを取り付ける。
- (8) 吸気圧力計のある機体に於いては防火壁部の配管接続タイ AN804-4D及びキャップ AN924-4を取り外し、代りに AN837-4Dエルボにて接続締付ける。
(図-2, E部)
- (9) 前項6のエルボにチューブ 200-914131-127 を仮り付けし、図-2(C)部箇所防火壁側のリベットを切り、 $\frac{17}{17} \frac{4}{0} \text{in}\phi$ の孔を穿孔し、クランプ MS21919DG12 スクリュー MS35206-246、ナット NAS679A08Wで取り付ける。
- (10) 前項チューブとブリーザーフィッティングをホース F-0454-12050で接続し、クランプ AN737RM38 (再使用) 2個で締め付ける。
- (11) サンプ・ドレーン部プラグ STD-551 (右舷) (図-2(D)部)を取り外し、エルボ MS20822-10Dを取り付ける。
- (12) 前項7のレジューサーと、前項エルボ間にホース SRC79-10-0230を取り付ける。
- (13) オイルセパレーター・フィッティングにホース F-0454-12050 を挿入し、チューブ 200-914131-129 を接続、クランプ AN737RM38, 2個で締め付ける。
- (14) 前項4で取り外したクランプ2個 (MS21919DG12) でチューブ 200-914131-129を取り付ける。
- (15) 図-2、(E)部に於いて、チューブ 200-914131-129を真空ポンプ・ドレーン・チューブにクランプ MS21919DG12, MS21919DG8, スクリュー MS35206-246、ナット NAS679A08W、ワッシャ AN960D8で取り付ける。
- (16) 防火壁部防熱材を接着剤セメダイン#540で取り付ける。
- (17) 副操縦席を取り付ける。
- (18) エンジン上部カウリングを取り付ける。

1.4. オイルセパレーターシステムの点検

オイルセパレーターシステムについて、50時間毎に次の点検を実施する。

- (1) オイルセパレーター損傷、取付状態。
- (2) オイルセパレーター各配管、ホースの損傷、取付状態。
- (3) システムの油洩れ点検。

(4) 11905 SIN (5K79-10-0230) の
下部エレクトロニクスを外して水抜きを実施する。

B

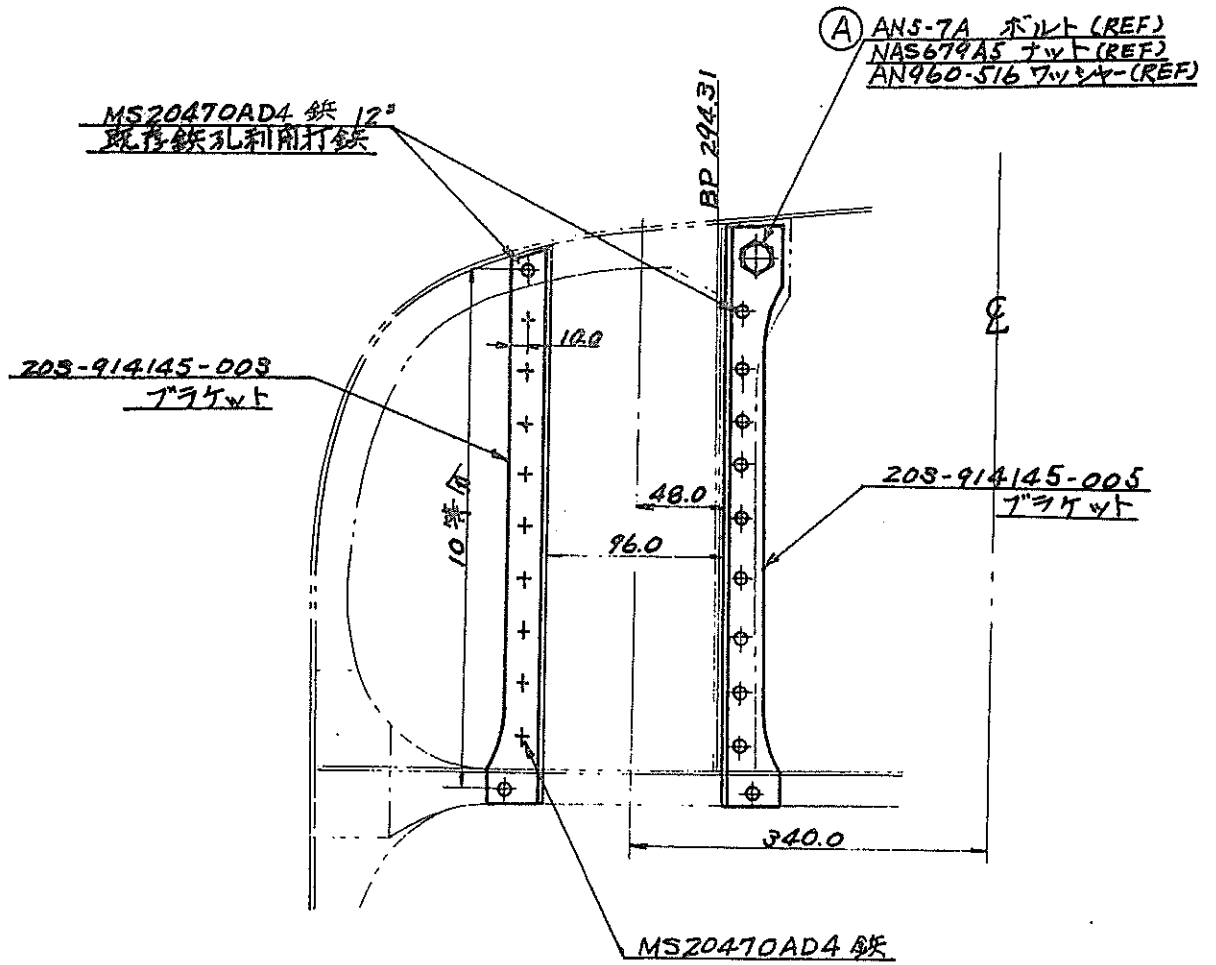
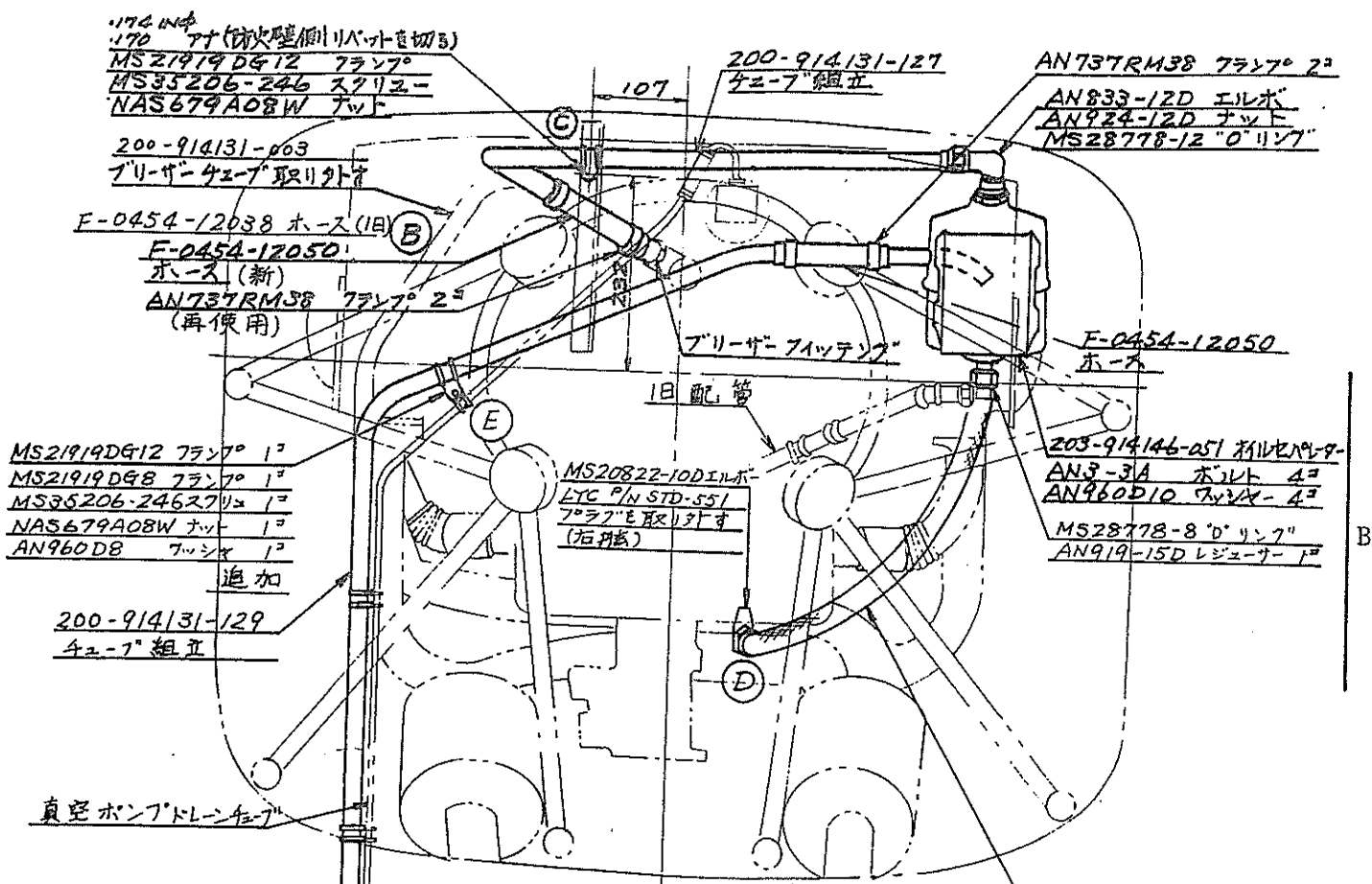
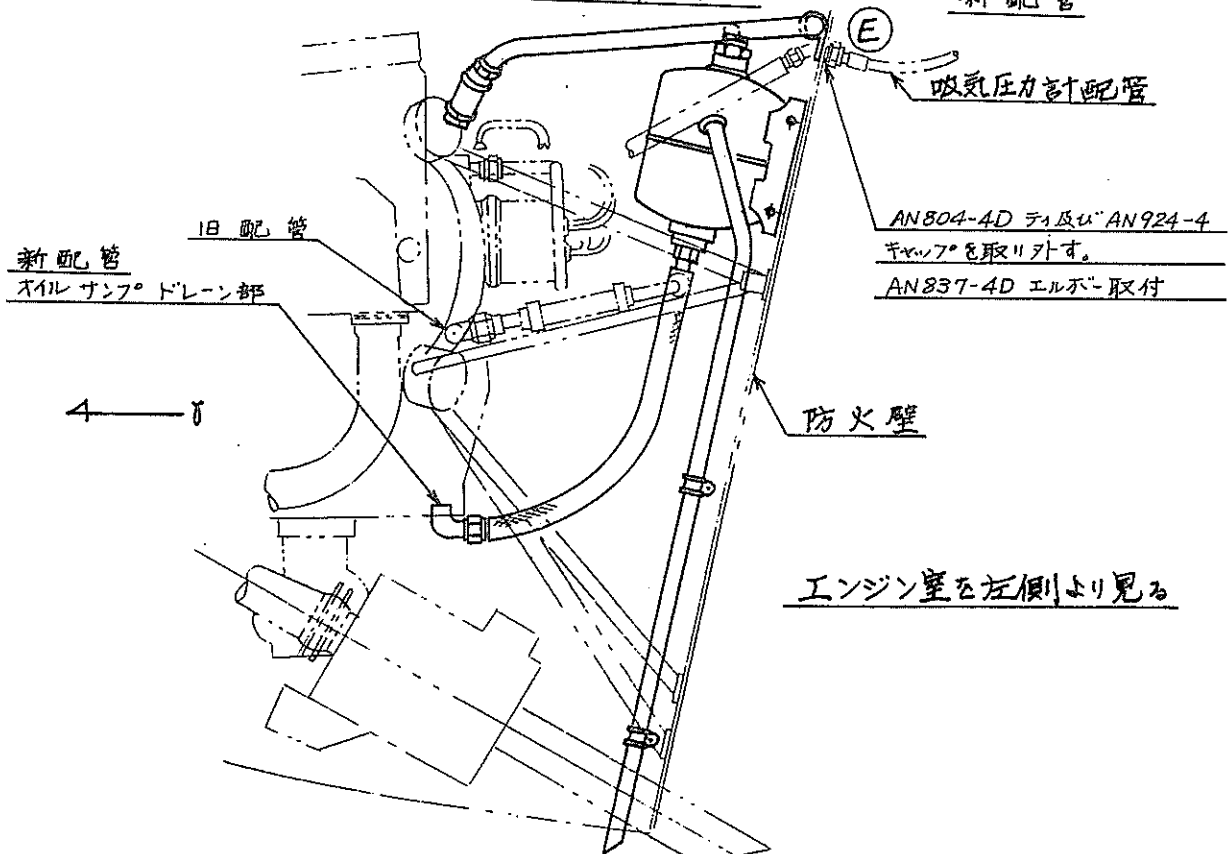


図-1 ブラケット取付
 (防火壁を前方より見る)



エンジン後部より見る



エンジン壁を左側より見る

図-2. オイルセパレーター取付要領図